

実行可能性調査事業と研究会について

<実証可能性調査事業・研究会の対象>

「協働の着眼点」の具体的な活用例の創出につながる取り組み

<目的>
ビジネス現場での
「協働の着眼点」
活用の実行可能性を
実証する

<目的>
「協働の着眼点」の
活用に関して
テーマを設定し、
研究する

実行可能性調査事業

<実施体制>

採択された企業・団体が事業主体となって、実際にビジネスを展開することにより、実行可能性を調査する

<事業の主な特徴>

- ① 今後のモデルとなる先進的なビジネスに関する調査である
- ② ビジネスとして継続性を有する
- ③ 活用の成果及び検証方法が明確に設定されている

<想定されるアウトプット>

「協働の着眼点」活用の検証結果や改善提案を農林水産省へ報告し、活用のひな形としてビジネスモデルを公開する

研究会
(分科会)

<実施体制>

共通の課題認識を有する複数の企業・団体が参集して、研究する

<事業の主な特徴>

- ① 「協働の着眼点」の活用に資する幅広いテーマが対象である
- ② 研究結果のとりまとめが目的である

<想定されるアウトプット>

ガイドライン、セルフチェックシート、提言書等の作成や取り組みの改善方策をとりまとめ、農林水産省へ報告する